

2023年3月期 第1四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社
2022年8月2日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

Copyright © 2022 Ushio Inc., All Rights Reserved

未来は光でおもしろくなる

USHIO



1. 2022年度 1Q実績は **増収増益**
2. 2022年度 通期業績予想は **変更なし**

I. 2022年度 1Q業績概要

II. 2022年度 今後の見通し

III. 参考資料

売上高

1 Q実績
397億円

前年同期比 : 47億円増 (+13.6%)

為替影響による増収効果
新型コロナ影響からの回復 (光源_シネマ用ランプ及び映像装置)

営業利益

1 Q実績
44億円

前年同期比 : 19億円増 (+73.9%)

増収による増益 (為替影響含む)
構造改革等による固定費抑制効果

親会社株主に帰属する
四半期純利益

1 Q実績
38億円

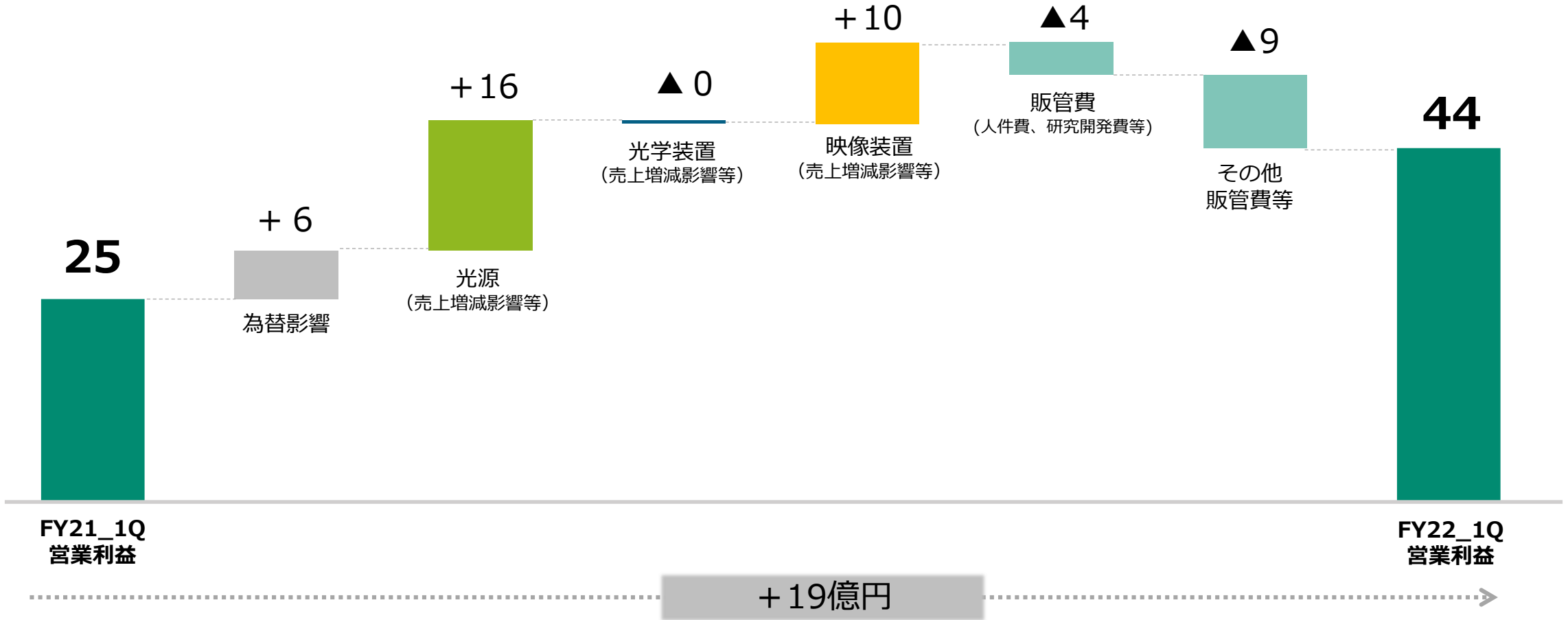
前年同期比 : 4億円増 (+14.2%)

【営業外収支】	為替差損益	10億円 (2021年度 : ▲ 1億円)
【特別利益】	固定資産売却益	1億円 (2021年度 : 11億円)

	(億円)	2021年度 1 Q実績	2022年度 1 Q実績	前年同期比	
				増減額	増減率 (%)
売上高		349	397	+47	+13.6
営業利益		25	44	+19	+73.9
営業利益率		7.4%	11.3%	+3.9P	—
経常利益		33	62	+29	+90.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益		33	38	+4	+14.2
EPS (円)		28.02	32.18	+4.16	+14.9
為替レート (円)	USD	110	126	+16	—
	EUR	132	137	+5	—

前年同期比 営業利益増減分析

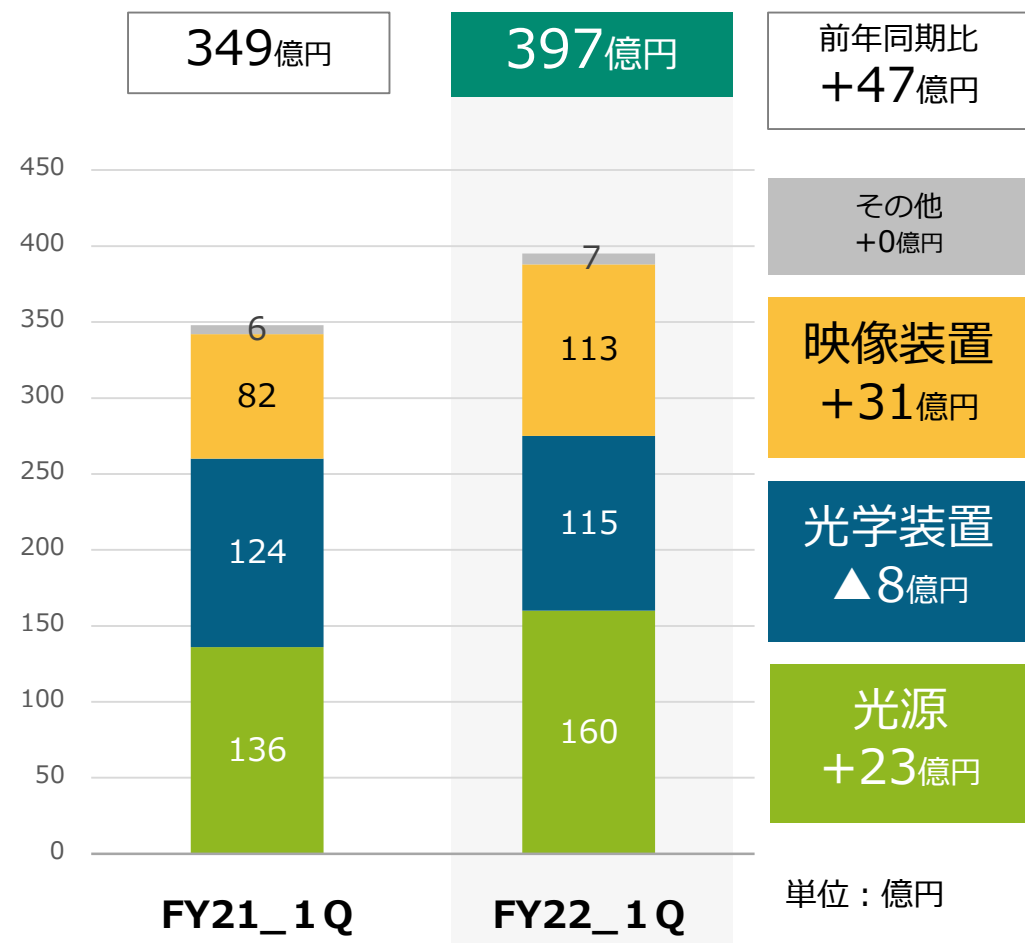
単位：億円



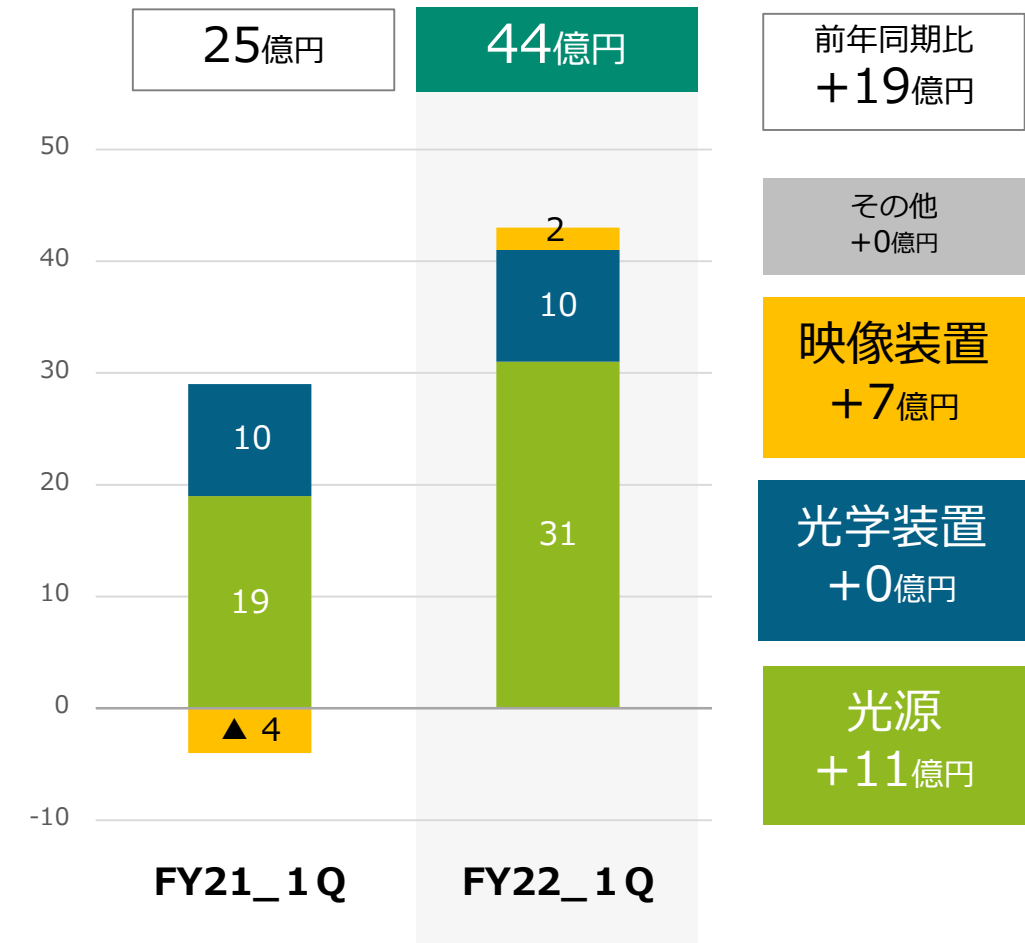
注：「光源（売上増減影響等）」～「その他販管費等」は、「為替影響」を除いた金額

セグメント別 売上高、営業利益

売上高



営業利益



共通

世界的な半導体等の部材不足や物流停滞により、一部事業で影響が発生
引き続き動向を注視

エレクトロニクス
分野

IoTや5Gの進展を背景に、半導体は生産の高稼働継続も、液晶は調整局面へ

- FPD市場は、巣ごもり需要によるパネル生産高稼働が続いたが、需要一巡により生産調整局面へ
- 半導体・プリント基板市場は、IoTや5G等の進展で高稼働かつ設備投資継続も、最終需要減速で先行き不透明
- IoT等の進展でデータセンター需要が増加 高速化・低消費電力化が進み最先端ICパッケージ市場は成長継続

ビジュアル
イメージング
分野

新型コロナウイルス感染症から各国の経済活動は再開しつつあり、市場は回復傾向

- シネマ市場は、映画館の再開に加え稼働も改善傾向。本格的な設備投資回復は2023年度以降を見込む
- 一般映像市場は、イベント等の規制解除や再開により欧米での投資が回復傾向
- OA機器市場は、セットメーカーで部材不足による影響があるも、新型コロナ影響から需要は回復傾向

光源

	2021年度 1 Q実績 (億円)	2022年度 1 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	136	160	+23	+17.3
放電ランプ	91	105	+13	+14.2
ハロゲンランプ	24	29	+4	+19.9
固体光源	19	25	+5	+28.5
営業利益	19	31	+11	+58.6
営業利益率	14.3%	19.4%	+5.0P	-

放電ランプ 売上高増減の主な内訳 (前年同期比)

- ・ **UVランプ (+ 5 億円、 + 15%)**
半導体・電子部品及び液晶パネル向け稼働の高水準が続き、販売が増加
- ・ **シネマ用ランプ (+ 9 億円、 + 65%)**
新型コロナ影響から全世界の映画館が再開及び稼働回復し、販売が増加
- ・ **データプロジェクター用ランプ (+ 1 億円、 + 19%)**
新型コロナ影響からプロジェクター需要が回復し、販売が増加
- ・ **光学機器 (+ 4 億円、 + 28%)**
液晶パネル製造用光学機器向けランプ販売が増加

ハロゲンランプ 売上高増減の主な内訳 (前年同期比)

- ・ **OA用ランプ (+ 1 億円、 + 16%)**
セットメーカーで部材調達による影響も、新型コロナ影響から需要回復
- ・ **その他 (+ 3 億円、 + 30%)**
半導体需要増に伴い、主に半導体向け熱処理用ランプの販売が増加

固体光源 売上高増減の主な内訳 (前年同期比)

- ・ **固体光源 (+ 5 億円、 + 28%)**
新型コロナ影響からエンタメやセンシング関連の需要が回復し、販売が増加

光学装置

(億円)	2021年度 1 Q実績	2022年度 1 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	124	115	▲8	▲7.0
営業利益	10	10	+0	+0.4
営業利益率	8.7%	9.4%	+0.7P	-

映像装置

(億円)	2021年度 1 Q実績	2022年度 1 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	82	113	+31	+38.5
営業利益	▲4	2	+7	-
営業利益率	▲5.8%	2.2%	+8.0P	-

売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **UV装置（+0億円、+0%）**
最先端ICパッケージ基板及びプリント基板向け露光装置は、堅調に推移
- ・ **キュア装置（▲5億円、▲49%）**
液晶パネル需要一巡により設備投資減少し、関連装置の販売が減少
- ・ **その他（▲2億円、▲8%）**
EUV関連：メンテナンス等は増加も、光源(本体)の販売が減少

売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **シネマ（+11億円、+33%）**
新型コロナ影響からの回復によりDCP販売が増加
- ・ **一般映像（+19億円、+44%）**
イベント等の回復により関連装置の販売が増加

I. 2022年度 1Q業績概要

II. 2022年度 今後の見通し

III. 参考資料

2022年度 通期業績予想

(億円)	2021年度 通期実績	2022年度					
		1Q実績	通期予想	前期比		1Q進捗率 (%)	
				増減額	増減率 (%)		
売上高	1,488	397	1,700	+211	+14.2	23.4	
営業利益	130	44	170	+39	+30.1	26.3	
営業利益率	8.8%	11.3%	10.0%	+1.2P	-	-	
経常利益	151	62	185	+33	+21.7	34.0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	126	38	140	+13	+11.1	27.6	
EPS (円)	104.54	32.18	117.79	+13.25	+12.7	27.3	
ROE (%)	5.7	1.6	5.9	+0.3P	-	-	
年間配当 (円)	50	50	50	-	-	-	
為替レート	USD	112円	126円	122円 (2Q以降: 120円)	+10	-	-
	EUR	131円	137円	132円 (2Q以降: 130円)	+1	-	-

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

セグメント別 売上高、営業利益 通期業績予想

	(億円)	2021年度 通期実績	2022年度				
			1Q実績	通期予想	前期比		1Q進捗率 (%)
					増減額	増減率 (%)	
光源	売上高	578	160	630	+51	+9.0	25.4
	営業利益	82	31	98	+15	+18.2	31.7
	営業利益率	14.3%	19.4%	15.6%	+1.2P	-	-
光学装置	売上高	483	115	510	+26	+5.4	22.7
	営業利益	46	10	57	+10	+23.4	19.0
	営業利益率	9.5%	9.4%	11.2%	+1.6P	-	-
映像装置	売上高	391	113	520	+128	+32.7	21.9
	営業利益	▲0	2	13	+13	-	19.0
	営業利益率	▲0.1%	2.2%	2.5%	+2.6%	-	-
その他	売上高	34	7	40	+5	+15.9	18.5
	営業利益	1	0	2	+0	+77.6	5.5
	営業利益率	3.3%	1.5%	5.0%	+1.7P	-	-
連結合計	売上高	1,488	397	1,700	+211	+14.2	23.4
	営業利益	130	44	170	+39	+30.1	26.3
	営業利益率	8.8%	11.3%	10.0%	+1.2P	-	-

2022年度 事業環境想定

全体

- ・半導体等の部材不足や物流停滞等による影響懸念が継続

光源

- ・UVランプ：液晶向けは高稼働が続いたものの生産調整へ
半導体等は高稼働継続も、先行き不透明
- ・シネマ用ランプ：稼働の回復傾向継続
- ・Care222：医療機関中心に販売継続も、需要は低調

光学装置

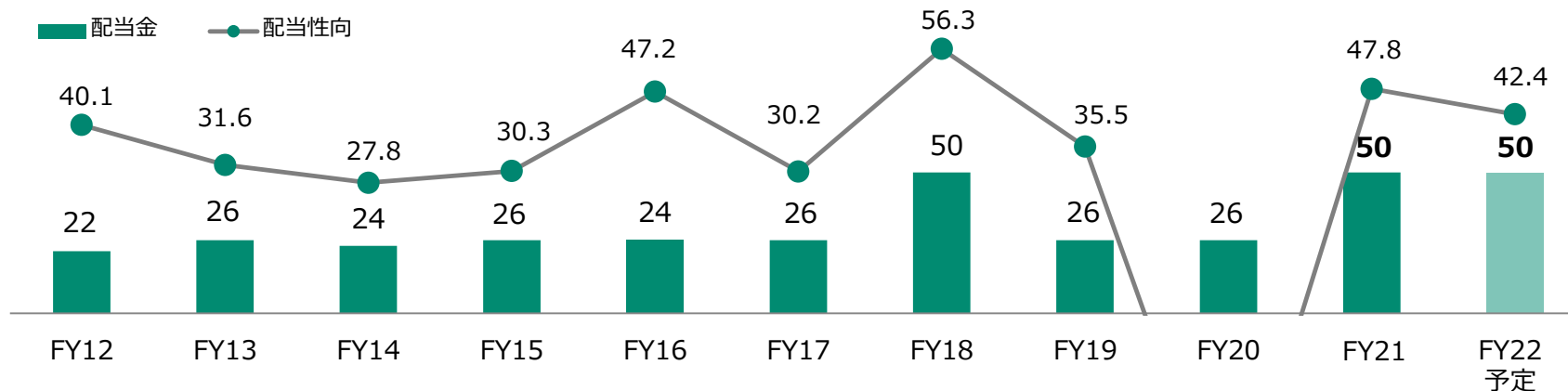
- ・最先端IC：半導体パッケージ需要は拡大継続も
一部検収が来期へ
- ・DI露光：ハイエンドモデル中心に販売が増加
- ・EUV光源：2022年度は需要調整局面も2023年度以降再び拡大
- ・開発費：次世代露光機向け投資継続

映像装置

- ・シネマ：需要の回復傾向継続
- ・一般映像：イベント回復等により需要は緩やかに回復
一方、部材不足による影響拡大で生産・販売に影響

1株当たり
期末配当額

【配当方針】 安定的な利益還元 2022年度は 50円／年 を予定



【自己株式取得の方針】

機動的に実施。なお、保有する自己株式は、発行済株式総数の5%を上限とし、発行済株式総数の5%を上回る部分については、毎年消却を実施

自己株式取得 2022年5月11日公表

期間：2022年5月12日～12月23日 株式：300万株(上限) 総額：50億円(上限)

参考：2022年7月31日時点の進捗

買付株式数：228.1万株（進捗率：約76%） / 買付金額：38.8億円（進捗率：約78%）

自社株買い

北米市場の販売が想定通り進まず、2022年度の売上高見通しを修正

- ・ 認証取得遅延により北米市場への導入時期を逸し、挽回策を講ずるも、想定を下回り推移見込み
- ・ 認知度不足及び紫外線に対する安全性の理解浸透の対策強化も、景品表示等の制約もあり想定通り進まず

1. ビジョンとここまでの取り組み

目指す姿：感染症の無い世界

有人環境下で空気・表面の抗ウイルス・除菌を行いたいというニーズ
（安全・安心の提供）

取り組み

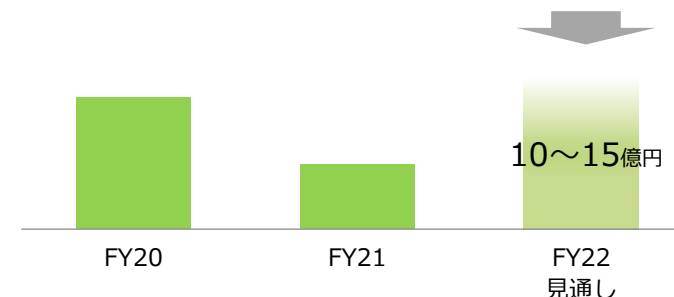
STEP0	・ 生産体制確立・製品展開 協業開発、ニーズに合わせたラインナップ拡充
	・ 認知度・ブランド価値向上 展示会・広告出稿、ブランドサイト、販売パートナーとの協業
	・ 効果のエビデンス拡充・紫外線に対する理解浸透 学会発表・臨床研究の推進継続 ACGIH*改訂を機に、IEC規格*の改訂及び各国の規格緩和の促進
STEP1	・ 親和性の高い空間インフラ ⇒ MaaS市場/医療現場へ

*ACGIH：労働者の作業環境基準として薬品等の許容濃度（TLV）等のガイドラインを示す、アメリカ合衆国産業衛生専門家会議

*IEC規格：国際電気標準会議（International Electrotechnical Commission：IEC）

2. 今後の方向性

■ 売上高推移（見込）



■ ビジョン実現と持続的な成長を目指し戦略見直し

- ・ 対象マーケットの再定義
- ・ 事業戦略の再構築

項目	最新の状況	売上高推移（見込）												
<p>最先端IC パッケージ基板 向け露光装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICパッケージ市場の成長継続、受注・引き合いは順調に増加も、部材不足による生産遅延等により、一部来期へシフト 生産能力増強：2022年度下期～1.3倍以上、2023年度～更に2倍以上へ 次世代露光機へ開発投資（高生産性×微細化） 	<p>前回比</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th></tr> <tr><td>FY18</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY19</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY20</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY21</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY22</td><td>見通し</td></tr> </table>	年度	実績	FY18	実績	FY19	実績	FY20	実績	FY21	実績	FY22	見通し
年度	実績													
FY18	実績													
FY19	実績													
FY20	実績													
FY21	実績													
FY22	見通し													
<p>ダイレクト イメージング 露光装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> IoT、5G等進展に伴いパッケージ・プリント基板市場成長継続 高解像力モデル(2 μmL/S)販売開始、2022年度より業績貢献 ターゲット：最先端ICパッケージ（Fan-out）、有機パッケージ基板市場等 	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th></tr> <tr><td>FY18</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY19</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY20</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY21</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY22</td><td>見通し</td></tr> </table>	年度	実績	FY18	実績	FY19	実績	FY20	実績	FY21	実績	FY22	見通し
年度	実績													
FY18	実績													
FY19	実績													
FY20	実績													
FY21	実績													
FY22	見通し													
<p>EUVリソグラフィ マスク検査用 EUV光源</p>	<ul style="list-style-type: none"> EUVマスク検査市場は着実に成長も、2022年度は調整局面 高輝度APMI*の本格採用は2024～25年度以降 保守メンテナンスは高稼働で推移 	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th></tr> <tr><td>FY18</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY19</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY20</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY21</td><td>実績</td></tr> <tr><td>FY22</td><td>見通し</td></tr> </table>	年度	実績	FY18	実績	FY19	実績	FY20	実績	FY21	実績	FY22	見通し
年度	実績													
FY18	実績													
FY19	実績													
FY20	実績													
FY21	実績													
FY22	見通し													

*APMI : Actinic Patterned Mask Defect Inspection（EUV光を使ったマスク欠陥検査装置）

I. 2022年度 1Q業績概要

II. 2022年度 今後の見通し

III. 参考資料

シネマ 中国でゼロコロナ政策・コンテンツ規制等により一部稼働低調も 全体的に市場回復傾向

- パンデミックからの経済活動再開に伴い、W-W 80%以上の劇場が再開し、稼働や上映回転率が改善傾向
参考指標（世界平均のスクリーン稼働率×上映回転率）： 2022年度 1Q時点=7割強、通期予想 =8割程度
- 大型ハリウッド作品の劇場公開が進み、欧米を中心とした興行会社の業績回復を促進 今後も順次公開予定
- 中国市場はゼロコロナ政策による稼働規制は解除されるも、コンテンツ配信規制あり稼働及び上映回転率が回復しきらない状況

<主要な地域の状況>

主要地域	劇場の再開状況
北米（約20%）	殆どのスクリーンが稼働再開しており、超大作コンテンツの公開により興行成績と併せて回転率も改善
中国（約35%）	ゼロコロナ政策解除により劇場稼働が再開されるも、コンテンツ不足により6割程度の回転率と見込む
EMEA（約20%）	ロシア/ウクライナを除く大半の地域で劇場稼働が再開され、回転率も改善傾向

() は、世界におけるスクリーン割合

USHIO

次世代半導体量産用EUV光源

開発/生産/販売



光源販売
メンテナンス

マスク検査装置メーカー
研究開発機関

半導体デバイスメーカー等

EUVリソグラフィの技術開発進展による次世代半導体の量産化ニーズ

検査、開発用光源のニーズ増大
ウシオのEUV光源が貢献

マスク検査用EUV光源需要増加
メンテナンス機会の増加

●ウシオのEUV光源開発の歴史

- 2000年 EUV光源開発開始
- 2001年 EUVA*設立、参画
- 2013年 リソグラフィ用途から撤退
- 2016年 オランダ研究機関TNOへ EUV光源納入
- 2018年 検査用（評価用）初号機納入
- 2019年 量産ライン用初号機納入、検収

*極端紫外線露光システム開発機構

●ウシオの強み

半導体業界での長いビジネス経験

+

長年積み重ねたEUV技術
(コンパクト/高輝度/高出力)

USHIO

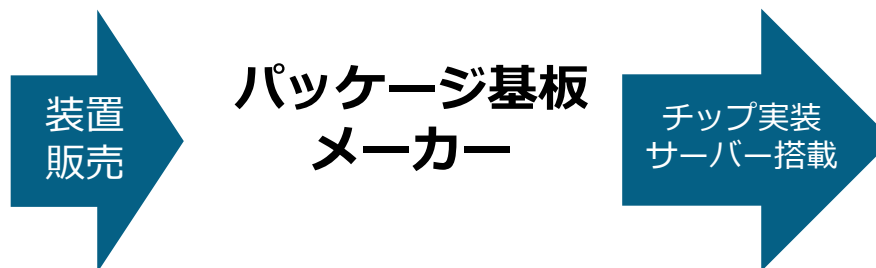
最先端ICパッケージ基板向け
分割投影露光装置 (UX-5)
製造、販売

●世界シェア：100%維持

ハイエンドBGA基板露光市場（自社調べ）



最先端・次世代パッケージの需要拡大

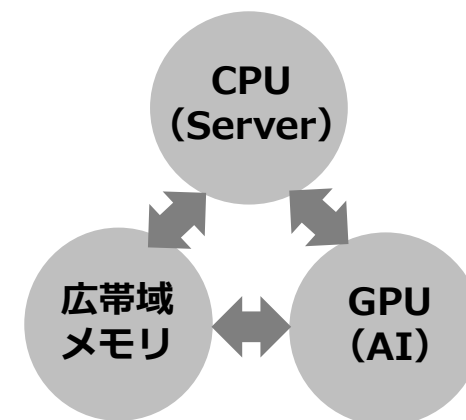


IoT進展に伴う大容量かつ高速データ処理用
データセンター向けサーバーの需要増加

データセンター市場：年率20%以上成長（自社調べ）
⇒ 次世代パッケージ基板の採用拡大

●UX-5の強み（特長）

1. 大面積一括投影露光
→ 高生産性、低CoO
2. マスクワーク非接触
→ 歩留まり向上
3. 広い焦点深度
→ プロセスマージン・基板反り対応
4. 高い解像力・重ね合わせ精度
→ 配線ピッチ微細化、プロセスマージン





ダイレクトイメージング露光装置

開発・製造・販売

微細化対応

高生産性



アプリケーションの革新に対応した
プリント配線板需要の増加

装置
販売

プリント配線板 パッケージ基板 メーカー

高密度化

多層化

基板
搭載

消費電力対応
小型化対応

●ウシオの強み

高解像力(ハイエンド)
世界最速の高生産性(ミドルエンド)
+
顧客本位の保守サポート能力

5G導入による
各種アプリケーションの革新と需要の増加

データセンター
基地局
需要増

スマートフォン
通信機器
需要増

車載
需要増

5Gサービス
世界各国で
開始・拡大

■ 最先端半導体のFOパッケージ、有機パッケージ基板（先端BGA）などに向けた直描式露光装置を開発

リリース全文（2021年7月12日発表）：

<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2021-2021/500818.html>



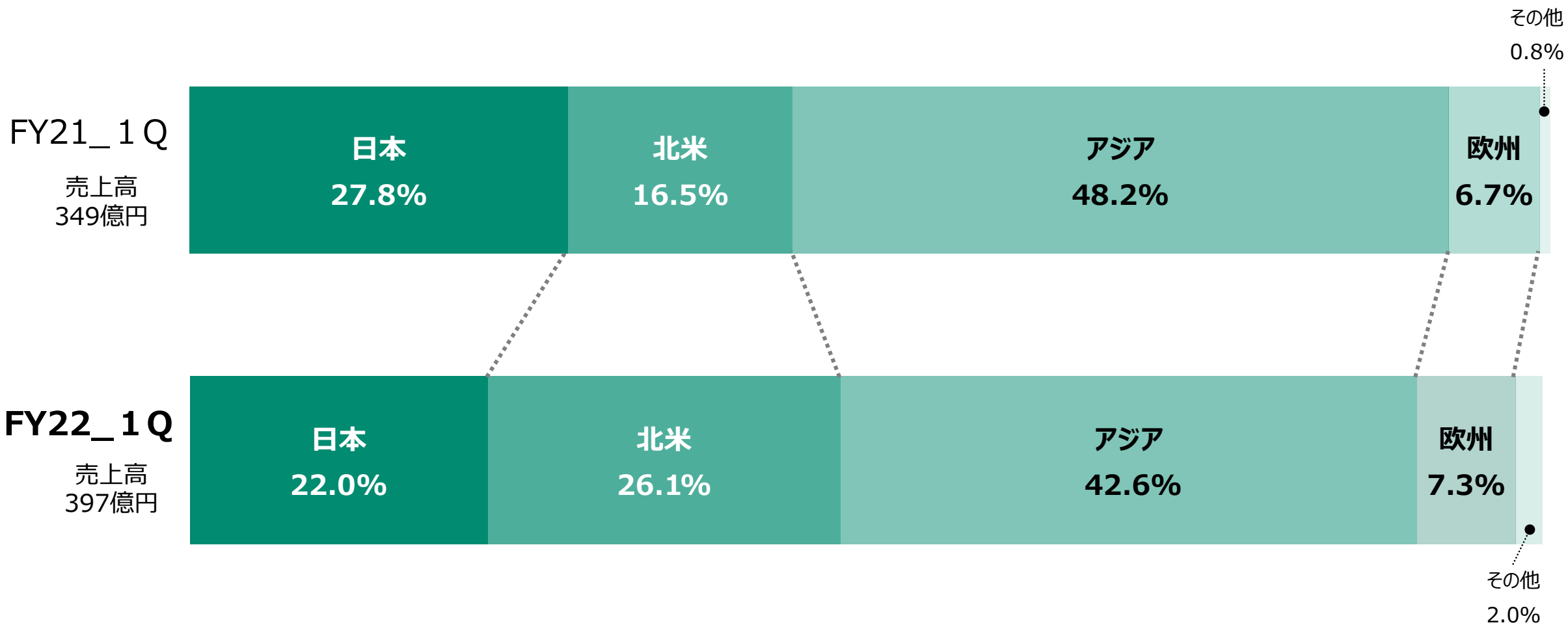
四半期推移《損益》

		2021年度				2022年度	前年同期比		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減額	増減率 (%)	
(億円)									
売上高		349	366	381	391	397	+47	+13.6	
営業利益		25	39	42	22	44	+19	+73.9	
営業利益率		7.4%	10.9%	11.1%	5.8%	11.3%	+3.9P	-	
経常利益		33	43	48	26	62	+29	+90.2	
親会社株主に帰属する 四半期純利益		33	31	36	24	38	+4	+14.2	
EPS (円)		28.02	25.94	30.52	20.06	32.18	+4.16	+14.9	
為替レート (円)		USD	110	110	113	115	126	+16	-
		EUR	132	130	130	129	137	+5	-

四半期推移《セグメント別損益》

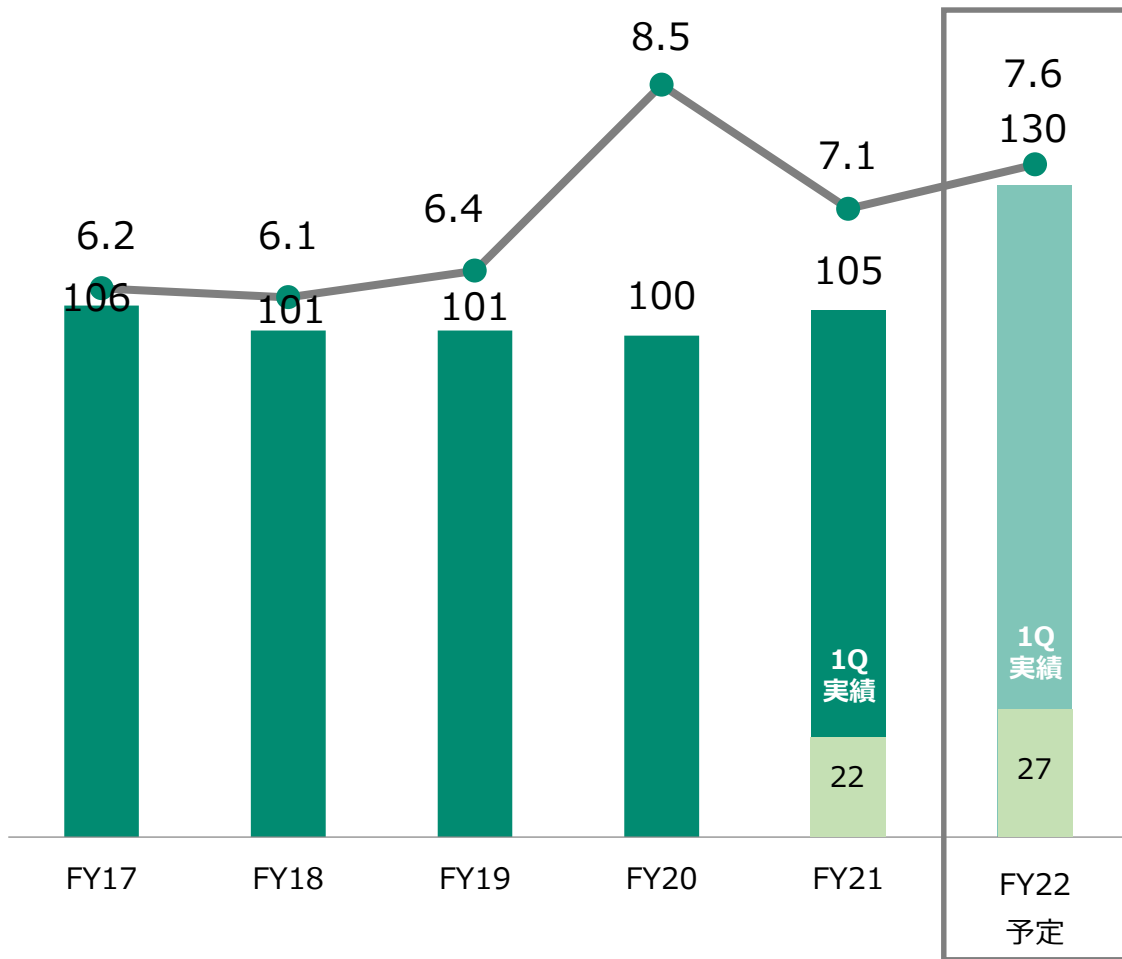
		2021年度				2022年度	前年同期比	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減額	増減率 (%)
光源	売上高	136	143	152	145	160	+23	+17.3
	営業利益	19	25	24	12	31	+11	+58.6
	営業利益率	14.3%	17.8%	16.3%	8.8%	19.4%	+5.0P	—
光学装置	売上高	124	120	108	130	115	▲8	▲7.0
	営業利益	10	13	10	10	10	+0	+0.4
	営業利益率	8.7%	11.3%	10.1%	8.4%	9.4%	+0.7P	—
映像装置	売上高	82	94	111	104	113	+31	+38.5
	営業利益	▲4	0	5	▲1	2	+7	—
	営業利益率	▲5.8%	0.3%	4.9%	▲1.4%	2.2%	+8.0P	—
その他	売上高	6	8	9	10	7	+0	+13.5
	営業利益	▲0	0	0	0	0	+0	—
	営業利益率	▲0.2%	2.2%	7.8%	2.0%	1.5%	+1.6P	—
連結合計	売上高	349	366	381	391	397	+47	+13.6
	営業利益	25	39	42	22	44	+19	+73.9
	営業利益率	7.4%	10.9%	11.1%	5.8%	11.3%	+3.9P	—

地域別売上高比率

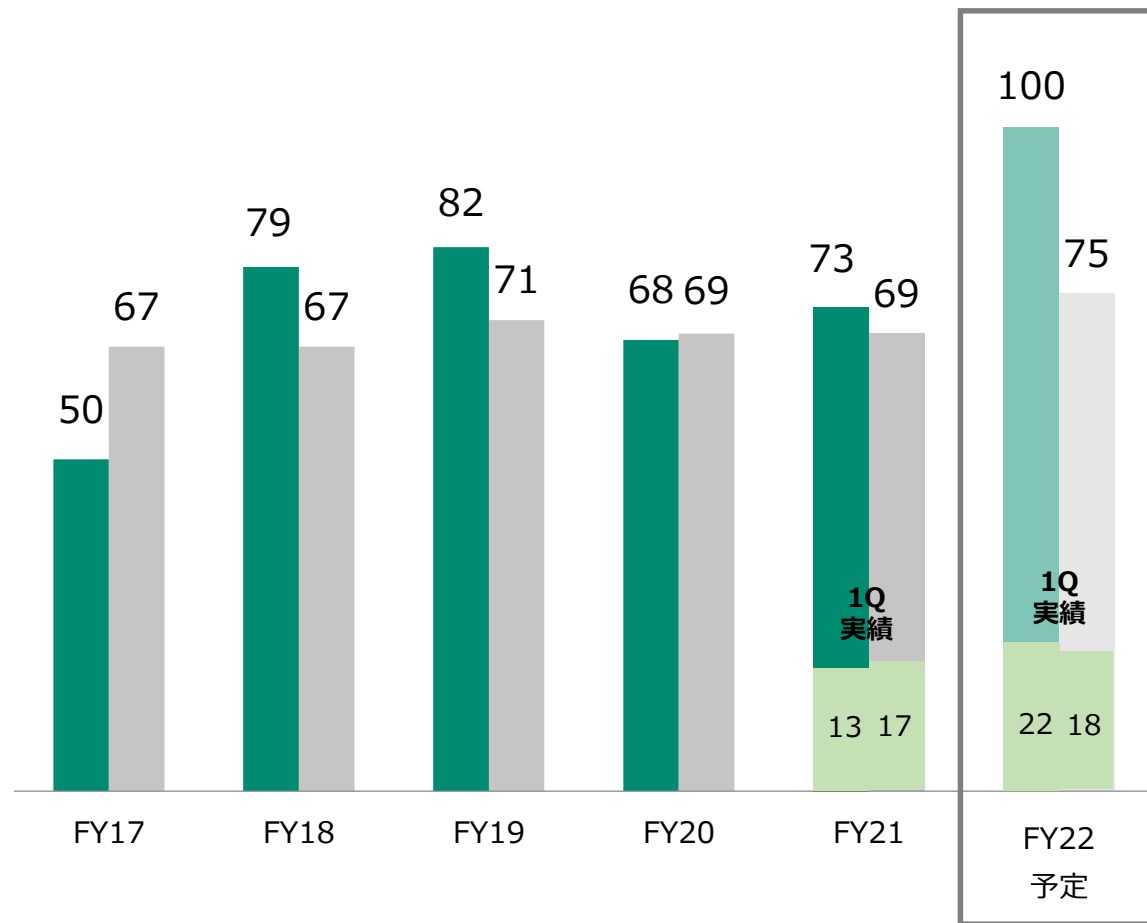


研究開発費／設備投資額・減価償却費

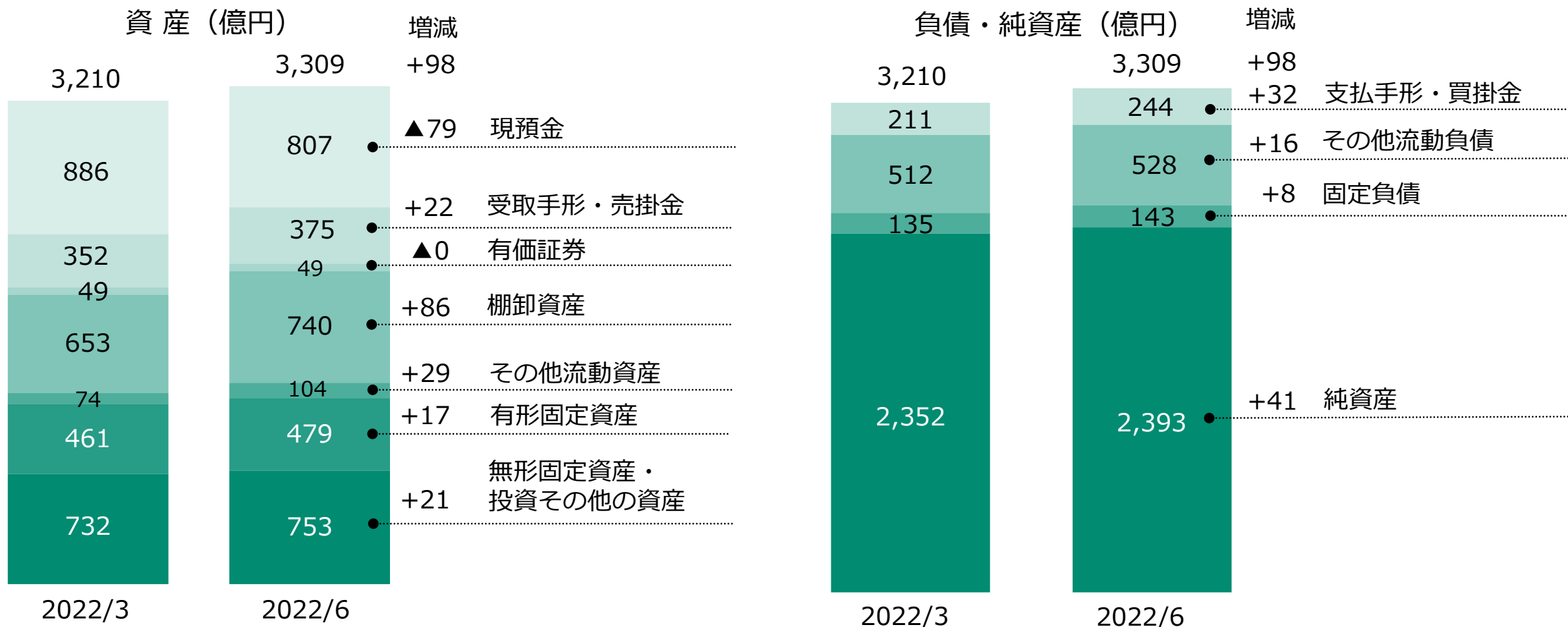
■ 研究開発費 (億円)
 — 売上高研究開発費率(%)



■ 設備投資額 (億円)
 ■ 減価償却費 (億円)



貸借対照表

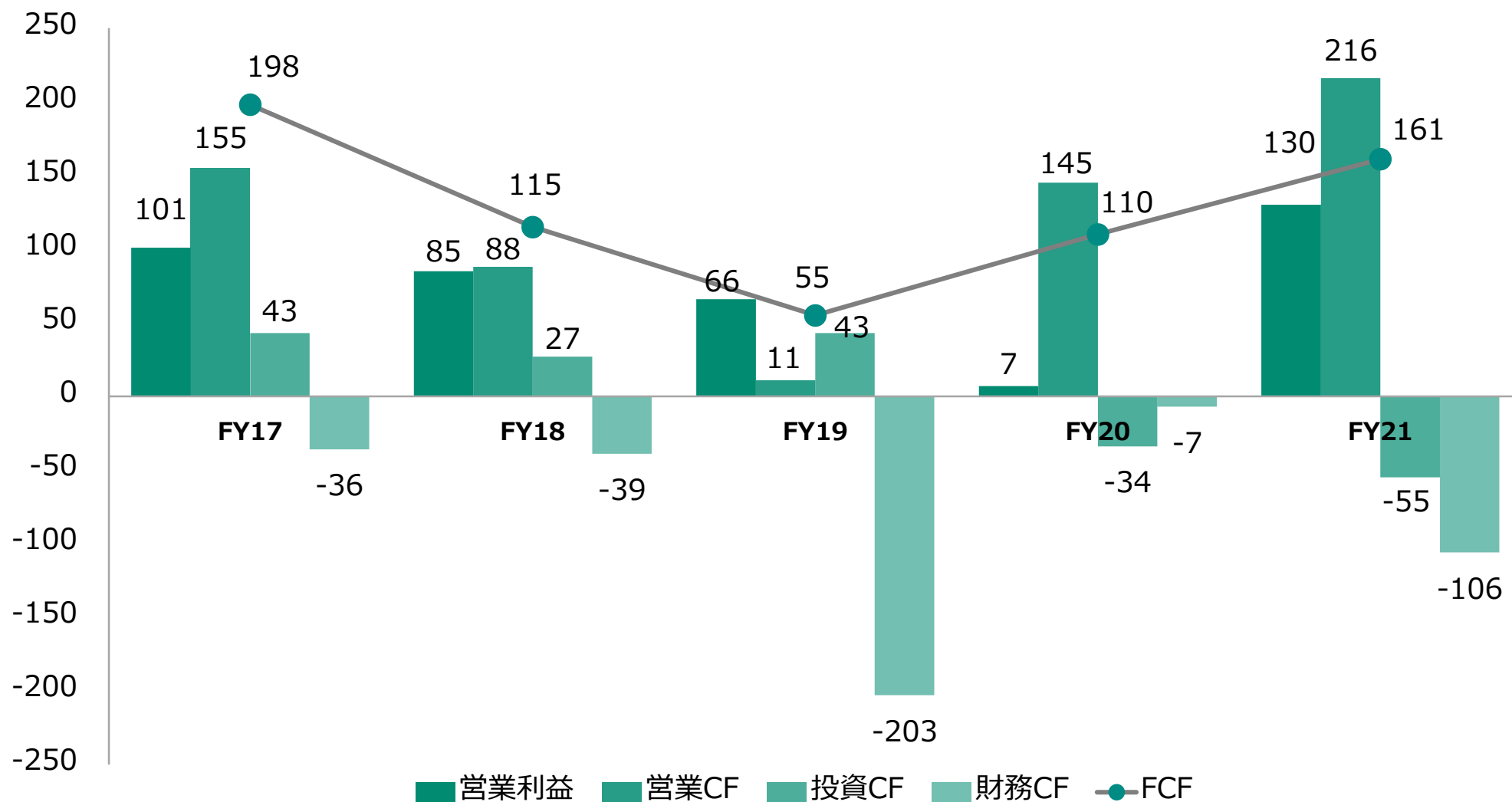


■ 回転月数 (ヶ月)	2022/3	2022/6
売上債権	2.8	2.8
たな卸資産	5.0	5.3

■ 自己資本比率 (%)	2022/3	2022/6
	73.2	72.3

キャッシュフロー推移

単位：億円



事業セグメントと主な製品

事業セグメント	主要事業・製品	製品例
光源事業	放電ランプ ハロゲンランプ 固体光源	 UVランプ  シネマ用 ランプ  データプロ ジェクター用ランプ  OA用ランプ  固体光源 (LD/LED)  Care222 関連製品
光学装置事業	投影露光装置 ダイレクトイメージング露光装置 EUVマスク検査用EUV光源 保守サービス	 投影露光装置  ダイレクト イメージング露光装置  EUVマスク検査用 EUV光源  光配向装置  液晶貼り合わせ用 紫外線照射装置
映像装置事業	デジタルシネマプロジェクター 一般映像用プロジェクター ディスプレイ 保守サービス	 デジタルシネマ プロジェクター  一般映像用 プロジェクター  ディスプレイ LEDウォール  映像周辺機器

- ▶ 当社オフィシャルWebサイト「投資家情報」をリニューアルしました。よりアクセスしやすく、ウシオの現在～未来を知っていただけるような構成に整理しました。
- ▶ 法定開示や適時開示、その他IR情報等、ウシオのIRニュースを開示後適時にメールでお届けできるように**IRメール配信サービス**を導入しました。IRサイトからご登録いただきますようお願いいたします。

Renewal Point

01

個人投資家の皆さま向けコーナーを新設

シンプルでわかりやすさを意識した構成にすることで、利便性の向上を図りました。



Renewal Point

02

コンテンツの新設

当社のビジネスをより身近に感じていただけるコンテンツを拡充しました。



Renewal Point

03

IRメール配信登録機能を追加

個人投資家の皆さまにもIRニュースをいち早くお知らせできるよう機能を追加しました。



ここをクリック

IRメール配信登録はこちらから



AI	Artificial Intelligence	人工知能
APMI	Actinic Patterned Mask Defect Inspection	EUV光を使ったマスク欠陥検査装置
BGA	Ball Grid Array	半田ボールを格子状に並べた電極形状をもったパッケージ基板
CoO	Cost of Ownership	導入コストやメンテナンスコストなどを含めた、使用者（オーナー）が負担するコスト
CPU	Central Processing Unit	中央演算処理装置
DCP	Digital Cinema Projector	デジタル・シネマ・プロジェクター
DI	Direct Imaging	マスクを使わず、直接描画する露光方式
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
GPU	Graphic Processing Unit	画像を表示するために必要な計算を行う半導体装置
IoT	Internet of Things	モノがインターネット経由で通信すること
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
TNO	The Netherlands Organization of Applied Scientific Research	オランダ応用科学研究機構
UV	Ultraviolet	紫外線
5G	5 th Generation	第5世代移動通信システム

<本資料に関するお問い合わせ先>
ウシオ電機(株)
コーポレートコミュニケーション部 IR課
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>